

地域再生プロジェクトの実施結果調書

実施主体 (市町村名)	上砂川町
----------------	------

1 地域再生プロジェクトの実施結果（プロジェクト全体）

地域再生 プロジェクト名	子育て・教育支援プロジェクト		実施 期間	平成23年度～平成24年度	事業 区分	新規・ <u>継続</u> 2年計画のうち2年目
実施主体	市町村名：上砂川町 民間団体名：					計 1 市町村 団体
格差の分野	医療・福祉の格差					
地域再生 プロジェクトの 目標	<p>（地域の現状・課題） 本町は、開町以来石炭産業とともに発展してきたが、国のエネルギー政策の転換により唯一の基幹産業であった炭鉱の閉山後、雇用の場を失った若年層が職を求めて町外へと転出したことにより、人口減少と少子高齢化が急激に進んでいる。このまま人口減少が続くと、集落の活力低下及び地域経済の停滞が懸念される。</p> <p>（プロジェクトの目標） 昨年の子育て・教育支援事業に加え、中央地区にキッズルームを備えた公営住宅を建設したことにより、町外より子育て家庭5世帯の転入があった。 今年度については、昨年のフォローアップ会議などの意見を反映し、子ども会育成協や老人クラブで構成する「子育てネットワーク会議」が中心となり、地域・家庭・行政が連携し、子育てを安心して行える総合的な支援を実施することにより、「上砂川で子どもを産み育てよう」と子育て家庭及び若年層家庭の転入を促すとともに、総合計画の基本構想である「生涯にわたり安心して暮らせるまち」の実現により、地域活性化を目標とする。</p>					
取組の成果	目標の 達成度	設定目標（項目）	現状値 (平成〇〇年)	支援期間終了後の成果目標 (平成〇〇年)	左記の目標に対する現時点の 達成状況（平成〇〇年）	
		少子化率	9.54%（平成17年度）	9.7%（平成24年度）	8.19%（平成24年度）	
		心理判定員による相談数	18人（平成22年度）	25人（平成24年度）	31人（平成24年度）	
	具体的 な効果	標準学力テスト (全国を100とした割合)	小学校83.9%（平成23年度） 中学校67.9%（平成23年度）	小学校86%（平成24年度） 中学校70%（平成24年度）	小学校84.4%（平成24年度） 中学校70%（平成24年度）	
		計画の 達成度	<p>プロジェクトの実施により、老人クラブが企画・立案した保育園の菜園における野菜栽培により、自身がこれまでの経験や知恵を子育て世代へ継承する事業が行われ、子育て世代との交流と高齢者の生きがいが増え、次年度以降も菜園の拡充を予定するなど、地域住民が子育て支援に関わる体制が構築された。</p> <p>心理判定員による相談数は、事業的にも好評で相談者数も今年度の経過で見ても目標を上回る指標となっている。 標準学力テストについては、目標値に対し小学校が若干下回り、中学校については目標値を達成していないが、テスト実施後における弱点の教科や傾向を分析し、指導計画を策定するなど、着実に児童生徒の学力の底上げがなされている。</p>			

	住民等の評価	これからの上砂川を担ってもらおう子育て家庭や子ども達に重点的に支援を行う中で、将来も上砂川町に住み続けたいという気持ちになる環境が整いつつあり、地域でも支援していかなければならないという機運も出来上がりつつある。
プロジェクト推進上の課題・問題点		<p>(課題・問題点等)</p> <p>「子育てネットワーク会議」や保育園保護者の会などが主体となって事業を進めているが、委員等の担い手不足や協力者の固定化などが見受けられるため、子どもを地域が育てる気運の醸成をさらに図る必要がある。</p> <p>子育てに係る総合的な支援を一過性ではなく今後も継続するが、高齢化率が43%と高く、自然減による人口減少が3か年平均で出生16人に対し、死亡が80人と高いため、なかなか人口増加に繋がらない状況である。</p> <p>(課題・問題点の把握、成果効果の検証、フォローアップを踏まえた今後の展開)</p> <p>今後も子育てに関する総合的な支援を人口3,800人余りの小さな町であるが故の近所同士の繋がりや町民誰もが顔見知りなどの特性を活かし、地域が主体となって子どもや家庭と交流できる事業を展開し、町民全体で子育て・教育支援を推進することにより、若年層の移住・定住と高齢者の生きがいの提供に努め地域の活性化を図る。</p>

2 地域再生プロジェクトの構成事業
 (1) 実施計画の達成状況等

No	事業名	事業概要	年次別実施計画		実施状況	効果・課題	今後の展開
			年次	取組内容			
1	育児用品購入費助成事業	出産後の育児用品の購入に対する助成で、経済的負担を軽減する。 育児用品購入券100千円（出生時50千円、1歳誕生時50千円）	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 育児用品購入券贈呈 ■ ■ 	出生時用 10 人の申請あり交付	(効果) 子育てをする家庭の経済的負担軽減に、有効に利用されている (課題) 商店の取り扱い商品の拡大	子育て支援として効果的であったので今後も継続する
			平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 育児用品購入券贈呈 ■ 購入品希望調査 ■ 	出生児 14 人、1 歳誕生時 11 件の申請があり交付	(効果) 子育てをする家庭の経済的負担軽減に、有効に利用されている (課題) 商店主との情報共有による事業展開	
2	心理判定員による子育て相談事業	子どもの心の成長や子育ての悩みなど心理判定員により指導相談	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 心理判定員による指導・相談 ■ ■ 	子育てに係ることについて 24 人の相談があった	(効果) 子育てを行う相談者の不安解消の一助となった (課題) 相談時間の制限	子育て支援として効果的であったので今後も継続する
			平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 心理判定員による指導・相談 ■ ■ 	食育や体調など日頃抱えている悩みについて、31 人の相談があった	(効果) 子育てを行う相談者の不安解消の一助となった (課題) 相談時間の制限	
3	おひさまルーム事業	保育園に子育て交流室を整備し子育て家庭の不安解消や孤立防止に係る事業や高齢者による菜園教室を実施し、知恵や経験を伝承	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ おひさまルーム事業の実施 ■ ■ 	保育園を利用して育児相談や親子で遊べる場を提供した（年間 24 回実施、延べ 234 人出席）	(効果) 新規に親子が加わるなど同事業が保護者や子供の交流の場として定着した (課題) 地域が主体となって事業を展開する仕組み	交流の場として効果的であったので今後も継続する
			平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ おひさまルーム事業の実施 ■ ■ 	老人クラブによる菜園教室や切り紙などを通じた世代間交流を実施（年間 24 回実施、延べ 244 人出席）	(効果) 高齢者の知恵や経験を伝承するとともに、生きがいを提供した (課題) 地域が主体となって事業を展開する仕組み	

※「地域再生プロジェクト計画書」（別記第1号様式）及び「地域再生プロジェクト調書」（別記第3号様式）の記載との整合に留意すること

No	事業名	事業概要	年次別実施計画		実施状況	効果・課題	今後の展開
			年次	取組内容			
4	児童館拡充(開館時間延長)事業	児童館開館時間を延長する	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 児童館開館時間の延長 ■ 児童厚生員の増員 ■ 	H22年度より800人多い延べ約11,000人の児童の利用があった	(効果) 時間延長により子育て中の家庭の支援となっている (課題) さらなる子どもの安全確保	子育て家庭の支援として効果的であるので今後も継続する
			平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 児童館開館時間の延長 ■ 児童厚生員の増員 ■ 	時間延長による共働き家庭を支援するとともに、厚生員の増員により、安全な施設環境を提供	(効果) 共働き家庭への支援が図られ、子ども達への安全な施設環境を提供 (課題) さらなる子どもの安全確保	子育て家庭の支援として効果的であるので今後も継続する
5	学童クラブ絵本でココロ事業	公民館において読み聞かせ、お菓子づくり教室等を実施	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学童クラブ事業の実施 ■ ■ 	公民館を放課後の児童生徒が勉強や遊びに集う場とし各種プログラムを実施した	(効果) 子どもたちが放課後有意義に過ごすことが出来る環境を提供出来た (課題) 地域が主体となって事業を展開する仕組み	児童生徒保護者の満足度が高いことから継続する
			平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学童クラブ事業の実施 ■ ■ 	公民館を放課後の児童生徒が勉強や遊びに集う場とし各種プログラムを実施した	(効果) 子どもたちが放課後有意義に過ごすことが出来る環境を提供出来た (課題) 地域が主体となって事業を展開する仕組み	児童生徒保護者の満足度が高いことから継続する
6	全国標準学力検査事業	小学校2～6年生、中学生全学年において学力検査を行う	平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学力検査の実施 ■ ■ 	小学生19人、中学生27人が学力検査を受けた	(効果) 学力達成度の確認が出来、学習指導に活用でき学力向上に繋がられた (課題) 児童生徒全体的な学力が底上げ	今後の児童生徒の学力向上に必要なことから継続する
			平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学力検査の実施 ■ 分析、指導計画の策定 ■ 	小学校2～6年生、中学生全学年において学力検査を実施	(効果) 学力達成度の確認が出来、学習指導に活用でき学力向上に繋がられた (課題) 児童生徒全体的な学力が底上げ	今後の児童生徒の学力向上に必要なことから継続する

No	事業名	事業概要	年次別実施計画		実施状況	効果・課題	今後の展開
			年次	取組内容			
7	芸術鑑賞事業	質の高い文化に触れることにより情操を養い、自主性を育む事業として、特に中学生においては、学校祭企画の一部として、自ら考え立案する事業を実施	平成23年度	■芸術鑑賞の実施 ■ ■	子供たちの企画により芸術鑑賞会を実施した。 小学校 9月2日 劇団 風の子 「おさな星のうたたね」 中学校 9月2日 歌手白川玲奈さんのミニライブ	(効果) 児童生徒の要望を踏まえ、町内や近隣市町で触れられない演劇や音楽に直接触れられる機会を確保することにより、充実した教育プログラムを提供することが出来た	普段触れることが出来ない演劇や音楽など充実した教育プログラムに対する児童保護者の満足度が高いことから継続する
			平成24年度	■芸術鑑賞の実施 ■ ■	子供たちの企画により芸術鑑賞会を実施した。 小学校 9月12日 演劇「雨ふり小僧」 中学校 9月7日 CIプロジェクトライブ	(効果) 児童生徒の要望を踏まえ、町内や近隣市町で触れられない演劇や音楽に直接触れられる機会を確保することにより、充実した教育プログラムを提供することが出来た	普段触れることが出来ない演劇や音楽など充実した教育プログラムに対する児童保護者の満足度が高いことから継続する
8	小中学校給食費助成事業	給食に係るパンと米飯の加工費を助成することにより保護者負担を軽減	平成23年度	■給食費助成事業 ■	小学校、中学校給食に係るパンと米飯の加工費を助成	(効果) 児童生徒を持つ子育てをしている家庭の経済的負担の軽減が図られた	経済負担の軽減が図られることから子育て中の家庭からの満足度が高いことから更に内容を充実させ継続する
			平成24年度	■給食費助成事業 ■	小学校、中学校給食に係るパンと米飯の加工費を助成	(効果) 児童生徒を持つ子育てをしている家庭の経済的負担の軽減が図られた	経済負担の軽減が図られることから子育て中の家庭からの満足度が高いため継続する
9	中学生以下医療費助成事業	中学生以下の医療費について町内医療機関に限り、自己負担分を助成	平成23年度	■医療費の全額助成 ■ ■	中学生以下の医療費について町内医療機関に限り、自己負担分を助成	(効果) 中学生以下の医療費を助成し自己負担額をなくすことにより安心して子育てに取り組める環境が整えられた (課題) 対象年齢の拡大検討	住民が安心して住み続けられる環境が提供でき、住民の満足度が高いことから継続する
			平成24年度	■医療費の全額助成 ■ ■	中学生以下の医療費について町内医療機関に限り、自己負担分を助成	(効果) 中学生以下の医療費を助成し自己負担額をなくすことにより安心して子育てに取り組める環境が整えられた (課題) 対象年齢の拡大検討	住民が安心して住み続けられる環境が提供でき、住民の満足度が高いことから継続する

No	事業名	事業概要	年次別実施計画		実施状況	効果・課題	今後の展開
			年次	取組内容			
10	保育園児ステップアップ事業	町内唯一の保育園の年長児クラスで小学校生活に即応できるよう学習時間を設定	平成23年度	■ ■ ■	保育園年長児クラスの園児に毎日20分程度、遊びを通じた就学前準備時間を設定	(効果) (課題)	自然な遊びの中で楽しく学び、就学前の教育が行えるので継続して実施する。
			平成24年度	■ステップアップ事業 ■ ■		(効果) ひらがなカードやマグネット式数字カードを使用し、読み書きを指導することで、就学前の基本的な教育が提供できた (課題) 内容の充実	
11			平成23年度	■ ■ ■		(効果) (課題)	
			平成24年度	■ ■ ■		(効果) (課題)	
12			平成23年度	■ ■ ■		(効果) (課題)	
			平成〇〇年度	■ ■ ■		(効果) (課題)	

(2) 実績額

(単位：千円)

No	事業名 実施主体名	実施期間	年次	事業費	財 源 内 訳						交付金 充当額 (充当要望額)
					国庫補 助金等	道補助 金 等	市町村補助等		市町村 自己財源	民間等 自己財源	
					補助金等		委託費				
1	育児用品購入費助成 事業	H23 ～ H24	全体計画								
			平成23年度	396				396			380
	町	平成24年度	1,165				1,165			1,076	
2	心理判定員による子 育て相談事業	H23 ～ H24	全体計画								
			平成23年度	90				90			90
	町	平成24年度	90				90			90	
3	おひさまルーム事業	H23 ～ H24	全体計画								
			平成23年度	189				189			180
	町	平成24年度	188				188			188	
4	児童館拡充（開館時 間延長）事業	H23 ～ H24	全体計画								
			平成23年度	86				86			80
	町	平成24年度	31				31			30	
5	学童クラブ絵本でコ ッコロ事業	H23 ～ H24	全体計画								
			平成23年度	20				20			20
	町	平成24年度	29				29			29	
計	事業数[]										

※「地域再生プロジェクト事業予定調書」（別記第2号様式）及び「地域再生プロジェクト調書」（別記第3号様式）の記載との整合に留意すること

(2) 実績額

(単位：千円)

No	事業名 実施主体名	実施期間	年次	事業費	財 源 内 訳						交付金 充当額 (充当要望額)
					国庫補 助金等	道補助 金 等	市町村補助等		市町村 自己財源	民間等 自己財源	
					補助金等		委託費				
6	全国標準学力検査事業	H23 ～ H24	全体計画								
			平成23年度	216				216			200
	町		平成24年度	146				146			146
7	芸術鑑賞事業	H23 ～ H24	全体計画								
			平成23年度	380				380			350
	町		平成24年度	350				350			350
8	小中学校給食費助成事業	H23 ～ H24	全体計画								
			平成23年度	770				770			700
	町		平成24年度	752				752			752
9	中学生以下医療費助成事業	H23 ～ H24	全体計画								
			平成23年度	406				406			400
	町		平成24年度	350				350			350
10	保育園児ステップアップ事業	H23 ～ H24	全体計画								
			平成23年度								
	町		平成24年度	89				89			89
計	事業数[10]		全体計画								
			平成23年度	2,553				2,553			2,400
			平成24年度	3,190				3,190			3,100

※「地域再生プロジェクト事業予定調書」(別記第2号様式)及び「地域再生プロジェクト調書」(別記第3号様式)の記載との整合に留意すること